

リーディングDXスクール事業【実践事例】

和歌山市立西脇中学校（和歌山県）【指定校】

【取組内容】プレゼンテーション動画を作成し、クラウドを活用して学年の作品を共有

総合的な学習の時間

【背景】

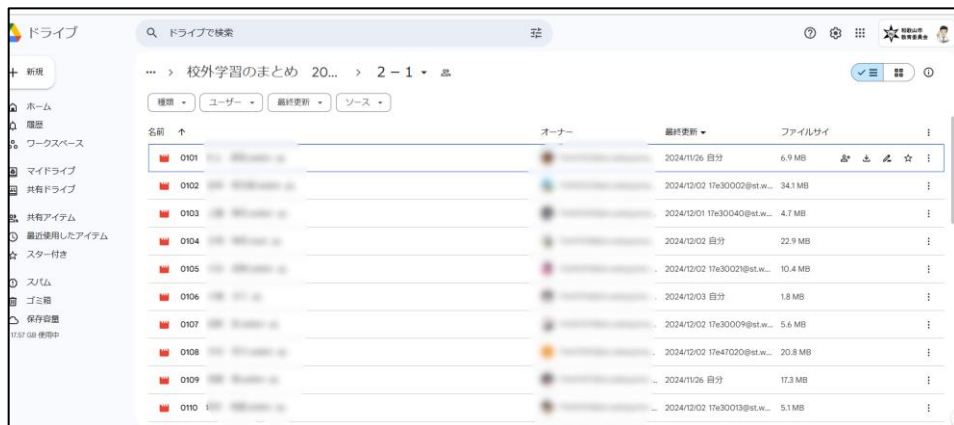
これまで、校外学習のまとめなどで、Googleスライドを利用していた。プレゼンテーションスキル向上のため、他者への発表する機会を検討し、

【全員が3～4人班で発表⇒班の代表1人がクラスで発表⇒クラスの代表2人が学年集会で発表】という取り組みをしていた。

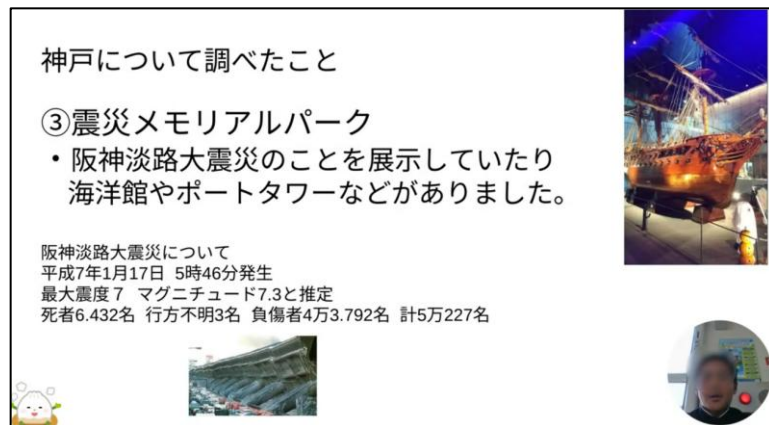
これ自体は、とても有効であったが、「他班（クラス）の、あの子の発表も見てみたい」「私の発表も、もっといろんな人に見てもらいたい」という声が上がった。

【新たな取り組み】

Google chromeの「画面録画」の機能を使い、プレゼンテーションに自分の顔と音声を加え、プレゼンテーション動画を作成。それを共有ドライブにアップロードして、クラスを越えた発表会を行った。



共有ドライブ



生徒作成プレゼンテーション動画